

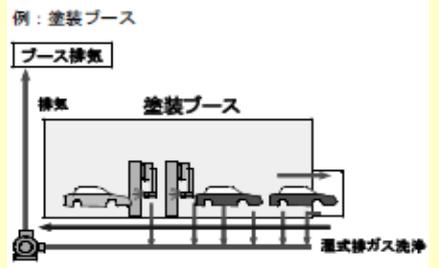
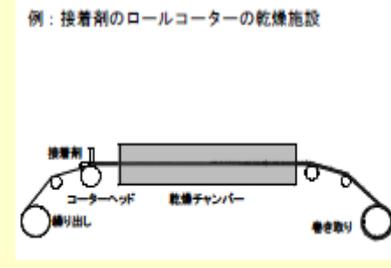
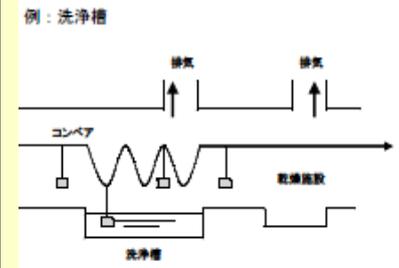
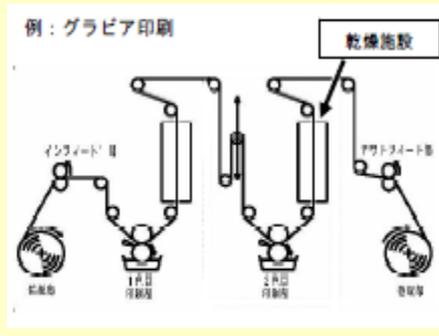
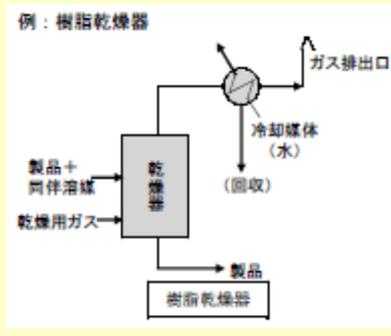
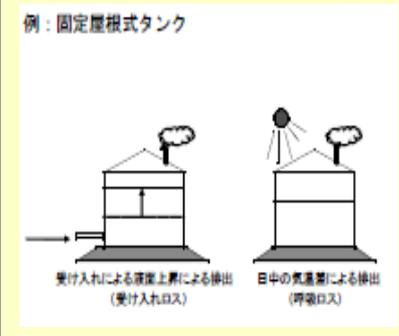
改正大気汚染防止法による VOC 排出抑制制度

環境・健康

浮遊粒子状物質（SPM）や光化学オキシダントの原因物質である揮発性有機化合物（VOC）の排出を抑制するため、平成16年5月に大気汚染防止法が改正されました。

これにより、法規制と自主的取り組みのベスト・ミックスを基本としつつ、法規制については平成18年4月1日より、①揮発性有機化合物排出施設の都道府県知事への届出、②排出口からの排出濃度基準の遵守、③排出濃度の測定が義務付けられています。

主な VOC 排出施設の類型およびその例

<p>【塗装施設】</p> <p>例：塗装ブース</p> 	<p>【接着関係施設】</p> <p>例：接着剤のロールコーターの乾燥施設</p> 	<p>（工業用洗浄関係施設）</p> <p>例：洗浄槽</p> 
<p>【印刷関係施設】</p> <p>例：グラビア印刷</p> 	<p>【化学製品製造関係施設】</p> <p>例：樹脂乾燥器</p> 	<p>【VOC 貯蔵関係施設】</p> <p>例：固定屋根式タンク</p> 

kes サポート

目的	課題	kes サポート
把握	排出口からの VOC 排出濃度	総炭化水素濃度測定（法令に基づく）
	排出口からの VOC 排出状況	総炭化水素濃度連続測定など
改善	排出口からの発散抑制	発散抑制コンサルティング 排出ガス処理装置の設置